

「巣箱のヘビ対策(1)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

今年も、北軽井沢の巣箱から、シジュウカラのヒナが無事に巣立っていった。いや、巣立ってはいったが、決して無事ではなかった。ヘビの被害に遭ったのだ。



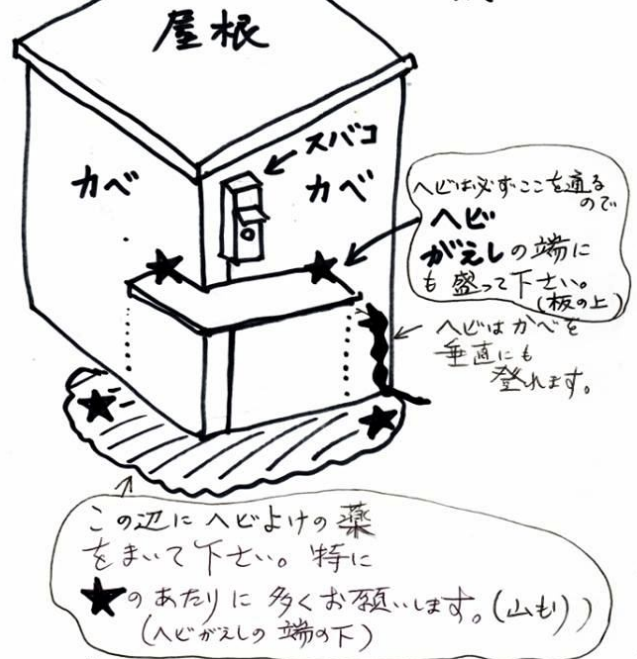
10日間、卵は順調に生まれ、10個になった。その後最初のヒナが孵化し、最終的に8羽のヒナが順調に育っていた。



これまでもたびたにヘビの被害に遭っていたので、今年は強力な「蛇返し」を設置していた。どう考えてもヘビは登れないと思っていたのだが、考えが甘かった。専門家によると、ヘビ類は強力な背筋を持っ

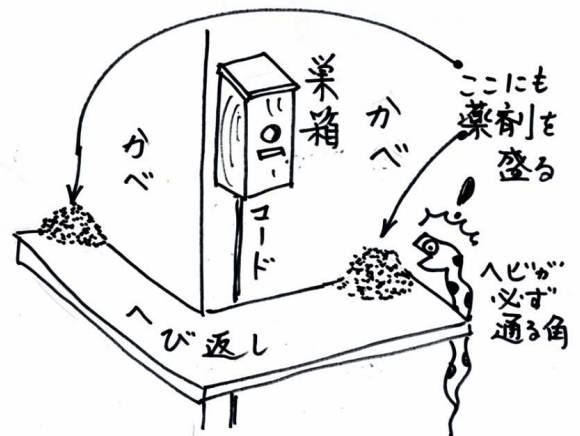
ていて、垂直な壁でも楽々と登ってしまうらしい。写真を見てもらったが、「これでは不十分」という意見だった。孵化前(つまり卵の間に)ヘビが巣箱を襲うことは絶対ない。従って、危険なのは孵化後である。今までの経験から、孵化後一週間後ぐらいが一番襲われる危険が大きい。そこで、孵化前に更なる対策を施すことにした。

田中栗平山荘. 裏物置巣箱  
下へのヘビよけ薬 ● 散布の  
お願い



5/26にヒナが生まれそうです。

地元の人にこのようなファクシミリを送って、ヘビよけの薬剤の散布をお願いしたのだ。



ヘビが巣箱に近づく時に必ず通るであろう、ヘビ返しには、特にたくさん薬剤を盛ってもらった。これで万全と思っていたのだが・・・甘かった!